

ひこね 市議会だより



滋賀県消防操法訓練大会の
出場に向けて
(彦根市消防団第13分団 [亀山学区])

平成29年5月臨時会 (5月18日)
平成29年6月定例会 (6月5日~6月22日)

- 5月臨時会で決まったこと… 2~4
- 6月定例会で決まったこと… 5~8
- 個人質問 …………… 9~18
- お知らせ …………… 19~20

— 決定しました —

5月臨時会で議長、副議長、監査委員を選任しました。
また、各委員会委員の構成は以下のとおりです。



監査委員
安澤 勝議員



議 長
八木 嘉之議員



副 議 長
安居 正倫議員

◇ 委員会の構成 ◇

(平成29年5月18日現在)

企画総務消防常任委員会	◎安藤 博 ○谷口 典隆	和田 一繁 上杉 正敏	八木 嘉之 獅山 向洋	西川 正義 野村 博雄
福祉病院教育常任委員会	◎馬場 和子 ○北川 元気	小川喜三郎 奥野 嘉己	矢吹 安子 長崎 任男	小菅 雅至 山田多津子
市民産業建設常任委員会	◎赤井 康彦 ○辻 真理子	杉原 祥浩 山内 善男	中野 正剛 安澤 勝	安居 正倫 夏川嘉一郎
予算常任委員会	◎上杉 正敏 ○小川喜三郎 奥野 嘉己	獅山 向洋 和田 一繁 杉原 祥浩	山内 善男 赤井 康彦 西川 正義	矢吹 安子 北川 元気 安澤 勝
議会改革特別委員会	◎谷口 典隆 ○安藤 博	馬場 和子 北川 元気	奥野 嘉己 赤井 康彦	山内 善男 上杉 正敏
新市民体育センター整備調査特別委員会	◎馬場 和子 ○赤井 康彦 山田多津子	中野 正剛 辻 真理子 安澤 勝	杉原 祥浩 谷口 典隆 安藤 博	長崎 任男
議会運営委員会	◎安藤 博 ○長崎 任男 辻 真理子	山田多津子 和田 一繁 赤井 康彦	谷口 典隆 上杉 正敏 野村 博雄	
議場開放促進委員会	◎山内 善男 ○中野 正剛	小川喜三郎 赤井 康彦	奥野 嘉己 杉原 祥浩	馬場 和子 北川 元気
広報委員会	◎上杉 正敏 ○和田 一繁	西川 正義 長崎 任男	安澤 勝 八木 嘉之	矢吹 安子 夏川嘉一郎
広聴委員会	◎辻 真理子 ○野村 博雄	安居 正倫 安藤 博	獅山 向洋 谷口 典隆	山田多津子 小菅 雅至
議会情報公開調整委員会	◎西川 正義 ○夏川嘉一郎	野村 博雄 小川喜三郎	奥野 嘉己	

◎=委員長、○=副委員長

5月臨時会の結果

5月18日の5月臨時会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案1件、その他議案6件を原案のとおり可決・承認・同意しました。

国宝・彦根城築城410年祭関連事業 800万円

航空自衛隊のブルーインパルスによる展示飛行およびこれに伴う築城410年祭関連ステージイベントを開催するための経費です。



本庁舎耐震化整備検討特別委員会報告

今回の委員会をもって本庁舎耐震化整備検討特別委員会を終結

4月25日に12回目となる本庁舎耐震化整備検討特別委員会を開催し、これまでの整備に係る経過ならびに今後のスケジュールについて審査を行った。主な質疑は以下のとおりである。
Q 立体駐車場の建設工事は完了し、7月末の予定となっているが、工期に変更はないのか。

A 既存建物の解体工事が遅れたことにより後の工程に影響が及んでいる。業者と協議しながら計画通りに終了するよう調整していく。
Q 本庁舎の工事は、平成31年5月31日竣工となっているが、新庁舎での執務が始まるのはいつからか。
A 平成31年3月末までには工事を完了し、早ければ5月のゴールデンウィーク明けから執務を開始したい。
Q 仮庁舎で執務を開始する時期はいつ頃になるのか。

A 窓口業務は8月14日、その他の業務は8月17日からの予定である。
なお、今日までの真摯で活発な議論により、本庁舎耐震化整備事業に係る調査と審議を尽くし、所期の目的が達成された。
加えて、本事業が引き続き安全でかつ市民サービスの質の確保が図られることを執行部に申し述べ、本委員会の終結を全会一致で確認した。

5月臨時会の質疑

議員3名(獅山向洋議員、山内善男議員、辻真理子議員)から質疑があった。
○議案第37号に対する主な質疑
Q 航空自衛隊ブルーインパルス展示飛行当日のみ開催される関連イベントは必要か。築城410年祭のイベントを見てもらう方が重要ではないか。
A 金亀公園でのステージイベントでは、展示飛行前後においても会場周辺に留まっていたくことで消費喚起につながることも、

城内の特別展示も見ていただくよう努める。
Q 展示飛行における危険性についての認識は。
A 安全性を最優先とした展示飛行を実施する。
Q 展示飛行は、築城410年祭関連事業とされているがどのように関連するか。
A 築城410年祭の開催目的には、「彦根城をはじめとする彦根の町の歴史、文化、伝統等彦根の魅力を市内外に発信するとともに観光振興による継続的な地域経済

の活性化を図ること」がある。今回の展示飛行は、集客力の大きいイベントであり、多くの観光客によって彦根城の写真や動画がSNSを通じて全国・全世界に発信されることが期待できることから、目的達成に効果の高い事業であると考ええる。
そのほか、議案第37号に対しては、重症心身障がい者通園施設「せいふう」に関する質疑、議案第41号に対しては、公用車の交通事故に関する質疑があった。

5月臨時会の議決結果【全会一致で承認・同意した議案等】

議案番号	件 名	結果
議案第38号	専決処分につき承認を求めることについて (彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第39号	専決処分につき承認を求めることについて (彦根市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例)	承認
議案第40号	専決処分につき承認を求めることについて (ひこね市文化プラザの指定管理者を変更し、指定することについて)	承認
議案第42号	彦根市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第43号	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
報告第 1号	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について	—
報告第 2号	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について	—
報告第 3号	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について	—
報告第 4号	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて	—
報告第 5号	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて	—
報告第 6号	損害賠償の額の決定について	—
報告第 7号	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて	—
報告第 8号	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について	—
報告第 9号	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について	—
報告第10号	損害賠償の額の決定について	—
報告第11号	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について	—

【賛否が分かれた議案】 (○：賛成 ●：反対 —：議長)

議案番号	件 名	結果	谷口 隆	獅山 向洋	北川 元氣	辻 真理子	夏川 嘉一郎	小川 喜三郎	赤井 康彦	安藤 博	八木 嘉之	矢吹 安子	和田 一繁	野村 博雄	杉原 祥浩	小菅 雅奎	上杉 正敏	中野 正剛	山内 善男	山田 多津子	奥野 嘉己	長崎 任男	安澤 勝	安居 正倫	西川 正義	馬場 和子		
議案第37号	平成29年度(2017年度)彦根市一般会計補正予算(第1号)	可決	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	—	○
議案第41号	損害賠償の額を定めることにつき議決を求めることについて	可決	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○



6月定例会の結果

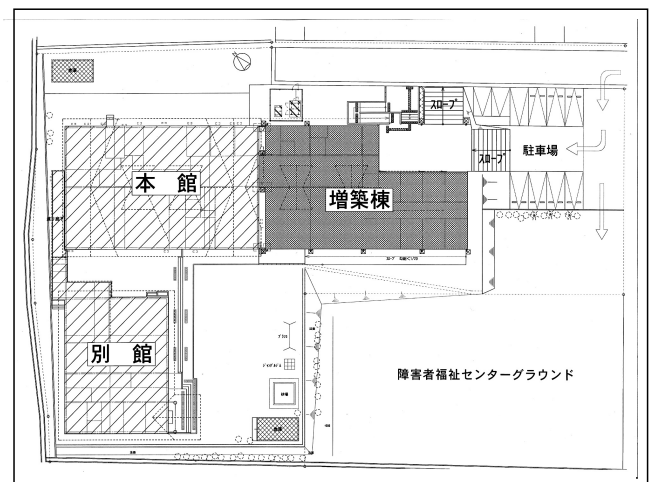
6月22日に閉会した6月定例会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案など予算関係は2件、条例関係5件、その他議案23件、また、請願1件を審査し、可決、同意および採択しました。

子ども療育センター増築事業

1,900万円

増築棟の工事に伴い、既設の本館と別館とを連結し一体化することから、消防法（昭和23年法律第186号）および建築基準法（昭和25年法律第201号）の要件に適合するために必要となる消火設備等にかかる経費と、増築棟玄関への車寄せ用スロープ等を設置するために必要な経費です。



橋りょう長寿命化推進事業（交付金）

5,942万2千円

国の社会資本整備総合交付金の交付決定により行う工事に必要となる経費です。内訳は、下記のとおりです。

- ・ 橋りょう定期点検委託（142橋） 3,540万円
- ・ 日の出橋（高宮町）補修工事（ひび割れ注入工） 430万円
- ・ 無名橋（彦富町）改修工事（カルバート工） 550万円
- ・ 後三条橋補修工事（伸縮装置工、断面修復工等） 1,422万2千円



6月定例会の議決結果【全会一致で可決・同意した議案等】

議案番号	件名	結果
議案第46号	彦根市個人情報保護条例の一部を改正する条例案	可決
議案第47号	彦根市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第48号	彦根市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第49号	彦根市市税条例および彦根市都市計画税条例の一部を改正する条例案	可決
議案第51号	里道に係る境界確定請求事件において和解をすることにつき議決を求めることについて	可決
議案第52号	彦根市農業委員会委員の少なくとも4分の1を認定農業者等または認定農業者等に準ずる者とする事につき同意を求めることについて	同意
議案第54号	財産の取得につき議決を求めることについて	可決
議案第55~73号	彦根市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
報告第12号	平成29年度(2017年度)一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について	—
報告第13号	第30期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について	—
報告第14号	第21期株式会社夢京橋の事業計画について	—
報告第15号	第15期株式会社四番町スクエアの事業計画について	—
報告第16号	平成28年度(2016年度)彦根市繰越明許費繰越計算書について	—
報告第17号	平成28年度(2016年度)彦根市事故繰越し繰越計算書について	—
報告第18号	平成28年度(2016年度)彦根市水道事業会計予算繰越しについて	—
報告第19号	訴えの提起とみなされた支払督促の申立てに係る請求につき和解をすることについて	—
報告第20号	損害賠償の額の決定について	—

【賛否が分かれた議案・審議結果】 (○：賛成 ●：反対 —：議長)

議案番号	件名	結果	谷	獅	北	辻	夏	小	赤	安	八	矢	和	野	杉	小	上	中	山	山	奥	長	安	客	西	馬	
			谷	山	川	真	川	川	井	藤	木	吹	田	村	原	菅	杉	野	内	田	野	崎	澤	居	川	場	
			典	向	元	理	嘉	嘉	康	嘉	繁	安	一	博	浩	雅	正	正	善	津	嘉	任	勝	正	正	和	
議案第44号	平成29年度(2017年度)彦根市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	平成29年度における彦根市長等の給与の特例に関する条例案	可決	○	●	●	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	工事請負契約の締結につき議決を求めることについて	可決	●	●	●	●	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	平成29年度(2017年度)彦根市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	就学援助の入学準備金支給額引き上げなど制度拡充を求める請願書	採択	●	○	●	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

予算常任委員会

**防災・減災を見据えた
橋りょう長寿命化推進事業等の予算を可決**

予算常任委員会は、6月15日と22日に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第44号、議案第53号

【主な内容】

○議案第44号 質疑

- Q 移住促進家賃補助金の利用頻度は。
- A 昨年度を上回る予測で、増額補正を行う。
- Q 市長・副市長・教育長の報酬減額の理由は。
- A 大型事業の推進、その他の本市の状況を踏まえた。
- Q 子ども療育センター増築に伴う、安全設備は十分か。
- A 防犯カメラ等本館同等の設備を設置する。
- Q ラウンドアバウト(環状交差点)の設置について。
- A 近隣自治会に十分な説明を行い実施予定である。
- Q 橋りょう長寿命化推進事業の内容は。
- A 橋りょう142橋の定期点検や補修工事等を行う。

○議案第44号 討論

反対 市長・副市長・教育長における報酬減額の根拠が明確でない。

賛成 新規事業については、安全対策を十分に配慮し

進めて欲しい。継続事業についても引き続き、住みよいまちづくりを目指して欲しい。

○議案第53号 討論

反対 アウトソーシングの導入については、住民サービスの低下や地域経済の疲弊につながる恐れがある。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

彦根市長等の給与の特例に関する条例案等を可決

企画総務消防常任委員会は、6月16日と22日に委員会を開催し、7件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第45号、議案第46号、議案第47号、議案第48号、議案第49号、議案第50号、議案第54号

【主な内容】

○議案第45号

- Q 平成29年度における彦根市長等の給与の特例に関する条例案について、市長7%、副市長5%、教育長3%の削減とする根拠は。
- A 高度多様化する行政需要への対応、大型事業その他の本市の状況を踏まえ、市長、副市長および教育長の職務および責任を勘案し、二役で決定した。

○議案第50号

- Q 庁舎耐震化工事に関しての入札経過は。

A 指名競争入札で2社が応札したが不調となり、随意契約の結果29億3千5百万円で落札となった。

【結果】

・議案はいずれも原案のとおり可決

企画総務消防常任委員会

福祉病院教育常任委員会

就学援助の入学準備金支給額の引き上げなど
制度拡充を求める請願を採択

福祉病院教育常任委員会は、6月19日に委員会を開催し、1件の請願について慎重に審査しました。

【審査】

・請願第1号

【主な内容】

○請願第1号 討論

賛成 就学援助制度の利用者が増加する中、今年度から新入学の児童・生徒への入学準備費用の国の補助単価が約2倍に引き上げられた。しかし、現在の制度では入学準備金は7月支給であることから、制服・体操服代など入学準備への数万円もの出費が家計を圧迫している家庭がある。入学準備金を入学前に支給してもらいたいとの切実な声にこたえるために賛成する。

【結果】

・請願は原案のとおり採択

【請願の趣旨説明】

今回の6月定例会から、請願審査における請願趣旨の説明について、紹介議員だけでなく請願者も審査を行う委員会に出席し、説明を行うことができるようになりました。

彦根市農業委員会委員に関する
議案等について可決・同意

市民産業建設常任委員会は、6月20日に委員会を開催し、2件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

・議案第51号、議案第52号

【主な内容】

○議案第51号

Q 専門である土地家屋調査等にかかる費用は。

A それぞれが負担をし、測量図においては原告負担とする。

Q 今回のように痕跡がなく、里道に係る境界が不明な事例に対する市の調査は。

A 地籍調査事業の中で推進している。それ以外の事例については、今後、調査可能かどうかも含めて検討する。

○議案第52号

Q 農業委員を決める評価委員会は公開しているのか。

A 公開していないが、今後検討していく。

【結果】

・議案第51号は原案のとおり可決
・議案第52号は原案のとおり同意を与える

市民産業建設常任委員会

Q ブルーインパルス展示飛行の評価と課題は



馬場 和子議員

課題。公共交通機関利用の呼びかけや周辺道路への告知看板設置を行い大規模渋滞には至らなかったが、今後はパーク・アンド・バスライドの実施も課題解決の一つである。

Q 5万人が喝采。ブルーインパルス彦根飛来。滋賀県下で初めて実施されたブルーインパルス展示飛行と関連イベントに対する評価は。

A 予想を超える約5万人の来場があり集客力の高いイベントで、ニュースや新聞にも取り上げられた。来場者によりインターネットに投稿された彦根城とブルーインパルスの写真や動画がさらに拡散されたことから、きわめて発信力の高いイベントであった。

Q 今回のイベントで見えてきた課題を解決する手立ては。

A 彦根城周辺の駐車場の絶対的不足に伴う市内の渋滞が

A 集客力・発信力の高いイベントであった



▲ブルーインパルスと彦根城とのコラボ写真を撮影する観覧者

その他の質問

- ・ 定住人口増加対策としての空き家の活用
- ・ 「彦根婚」のススメ
- ・ 働き方、業務改革
- ・ 世界遺産登録の本気度とユネスコ協会

Q 各駅中心のまちづくりのイメージは



赤井 康彦議員

域の玄関口で生活拠点となるようなまちづくりのイメージをしている。また、近江鉄道の高宮駅や鳥居本駅は、宿場町としての歴史性を活かしていく。

Q 市長公約である「各駅を中心としたにぎわいのあるまちづくり」の各駅とは。

A 今後の人口減少や少子高齢社会の到来を見据えた場合にはJRの4つの駅の利便性を活用することが重要と考える。

Q 各駅を中心としたまちづくりのイメージは。

A 各駅とも特色を持つており、特色を活かしたまちづくりが必要と考える。彦根駅は、都市機能の充実や観光都市、南彦根駅は、新市街地としての都市機能の充実や新市民体育センターの整備も控えており、新たに健康・スポーツの拠点とし、河瀬駅や稲枝駅は、地

A 南彦根駅は健康・スポーツの拠点



▲南彦根駅西口

その他の質問

- ・ 湖岸道路沿いにパークキュー場整備を
- ・ カロムを市の技として条例化を
- ・ 高齢者世帯であればふれあい収集を

自転車の安全な利用について



中野 正剛議員

務化されていること、滋賀県交通安全協会で比較的安価な保険を準備されていることなどについて、滋賀県と連携しながら、普及、啓発を進めていく。

Q 自転車専用道路・自転車専用通行帯等の整備については。

A 自転車を安全に利用できる環境を整備する必要があることから、今後、バリアフリー化などの市道の改良工事を実施する際には、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に従って、車道や歩道と分離した自転車通行帯の整備を原則とし、困難な場合には、車道の路肩付近のカラー舗装などを実施していく。

Q 自転車損害賠償保険の加入促進については。

A 自転車を利用される方全員が保険に加入されることを目指して、滋賀県の条例で義

A 安全に利用できる環境を整備する必要がある



▲自転車マーク

その他の質問

- ・乳幼児の家庭内事故防止の「見える化」を
- ・総合的な「奨学金相談窓口」の設置を

就学援助制度の入学準備金の前倒し支給を



山田多津子議員

倒し支給を決めている。市も前倒し支給をすべきでは。
A 入学準備金を前倒し支給する事は有益であると考えるが、課題整理をし、実施に向け検討していく。

Q 親の経済力に関わらず平等に教育を受けられることを目的とした就学援助制度には、ランドセルや制服などの購入費用として、入学準備金がある。国は要綱改正し入学準備金を倍増したが、市の予算は従来のみである。増額支給はいつから実施するのか。

A 7月中旬から下旬に支給予定のため、必要に応じて補正予算を予定している。

Q 入学準備金の支給は7月頃であり実情とかい離していることを国が認め、「必要な援助が必要な時期に実施を」と通達した。これに応じ全国で予定も含め158自治体が前

A 課題を協議し前倒し支給実施に向け検討する

(平成28年4月現在)

	中学校	小学校
市内生徒数	3,134人	6,383人
利用者数	553人	810人
入学準備金	中学校	
	23,550円	→ 47,400円
	小学校	
	20,470円	→ 40,600円
※2017年度より増額		

▲市内の就学援助利用状況等

その他の質問

- ・国保制度の県単位化問題について
- ・市民体育センターのあり方について
- ・栗見橋の改修の見通しについて

開出今橋（通称赤橋）の改修は



矢吹 安子議員

国の交付金を活用し、全面的な再塗装の次年度実施を検討している。今後の塗装修繕は数年で剥がれない塗装をして5年に1度橋梁点検し、景観にも配慮し取り組んでいきたい。

Q 4、5年前から赤橋の赤色の塗装のはがれが甚だしいが夜はライトの輝きで幻想的な風景である。その赤橋の特に高欄建設のための初期費用は。

A 開出今橋は、井伊家の甲冑の「赤備え」をイメージして赤い特殊な高欄を設置しており、高欄に要した初期費用は照明器具も含め5千8百万円である。近隣の宇尾大橋のような一般的な高欄は約1千9百万円程度である。



▲開出今橋（通称赤橋）

Q 今後の改修の取組は。

A これまで部分的な塗装補修を行ったが、塗装の剥離による腐食が確認でき、防食機能も低下していることから、

A 全面的な再塗装の改修を次年度に実施したい

その他の質問

- ・「ひこねちゃん」新たなスタートを
- ・5月連休中における彦根城内のトイレの使用禁止から

庁舎耐震補強・改修・増築工事入札の結果は



奥野 嘉己議員

での経費縮小等によるものと考ええる。

Q 耐震補強資材の同等品への変更による耐震性I-S値は。

A I-S値0.9以上とする設計基準を満たしている。

Q 市庁舎耐震補強・増築・改修工事にかかる入札では、約29億円の予定価格に対し、2社の入札価格が41億円で不調。その後も再度不調となったため随意契約の交渉となり、当初入札額に対し11億6千5百万円もの大幅値引がなされ、予定価格の99.9%の価格で落札となっている。値引きの根拠を問う。

A 部材など個々の金額が明記されたものはないため詳細な金額の比較検討はできない。制震工法の同等品の検討、建具および仕上げ工事の使用材料の検討の積み重ね、かつ、地元貢献を目指した企業努力

A 同等資材使用と企業努力でコストダウン

その他の質問

- ・公用車事故の減少に向けて
- ・市長給料削減条例提案について
- ・議案第48号の条例改正について

予定価格 ¥2,939,000,000.(税抜き)			
	第一回入札結果	第二回入札結果	随意契約結果
A 社	¥4,100,000,000.	¥4,020,000,000.	¥2,935,000,000.
B 社	¥4,100,000,000.	¥3,980,000,000.	¥3,878,000,000.
結果	入札不調	入札不調	A社落札
落札率 (落札額/予定価格)	99.9%		
値引額 (第一回入札額-落札額)	¥1,165,000,000.		
値引率 (1 - (落札額/第一回入札額))	28.4%		

▲市役所本庁舎耐震補強・改修・増築工事入札について



北朝鮮の脅威に備え避難訓練を



北川 元気議員

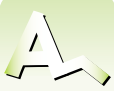
練の実施を今後の検討課題としてるので、本市として県の検討結果を踏まえたくうえで、訓練の必要性について検討したい。

Q 彦根市は北朝鮮の脅威をどのように把握しているか。

A 北朝鮮の脅威については、ミサイル発射が繰り返し行われている現状から緊張は高まっており、北朝鮮が保有する弾道ミサイルのほとんどが日本国内を射程内に収めていることから本市も同様に射程内に入っていると認識している。

Q 弾道ミサイルを想定した避難訓練を実施する考えは。

A 弾道ミサイル飛来時には、国および県が主体となつて対応を図ることになるので、避難訓練は本市単独の実施ではなく、国および県とも調整を図る必要がある。県は避難訓



県の検討結果を踏まえ
検討したい



▲彦根市ホームページに掲載されている「弾道ミサイル落下時の行動について」

その他の質問

- 彦根市長選挙の結果について
- 大久保市長の公約について



高密度播種育苗とは



長崎 任男議員

策は現在ないが、既存の経営体育成支援事業や産地パワーアップ事業を活用することにより、専用の田植機の導入に対する支援が可能である。

Q 高密度播種育苗とは。

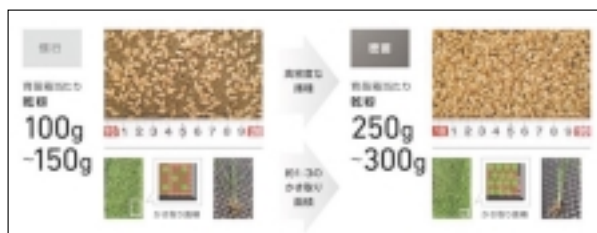
A 育苗箱に播く籾の量が通常150g程度のところ、250gから300gの高い密度で播種し、1株あたりの植え付け本数を従来と同じ3本から4本で移植することで、10アールあたりの育苗箱数が、通常では13箱程度のところ5箱から7箱と大幅に少なくすることができ、低コスト化、省力化が期待される技術である。

Q 高密度播種育苗に対する支援は。

A 高密度播種育苗の田植えには、専用の田植機がキットが必要となる。高密度播種育苗そのものへの直接的な支援



低コスト化、省力化が
期待される技術である



▲高密度播種育苗

その他の質問

- 弾道ミサイル飛来に伴う市教育委員会の対応について
- 弾道ミサイル飛来に対する彦根市の危機管理体制について





住宅用感震ブレイカー
設置普及の見解は



安藤 博議員

のため、自宅から避難する際にはブレイカーを遮断するよう指導してきた。今後は感震ブレイカーの普及のあり方について調査、研究していく。

Q 平成25年12月に内閣府から、住宅用感震ブレイカーの100%配備が提言された。また、平成27年3月に「首都直下地震対策推進本部基本計画」が閣議決定され、感震ブレイカーの普及率を今後10年間で25%以上を目指すことが示されている。感震ブレイカーは、震度5以上の地震を検知すると、警告音が鳴り、避難時に急に暗くならないよう、3分後にブレイカーが遮断されるものである。彦根市として住宅用感震ブレイカーの設置に対する見解を求める。

A 本市では、大規模地震発生時における電気火災の防止

A 感震ブレイカー普及のあり方を研究していく



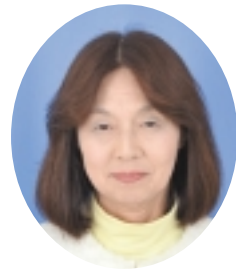
▲住宅用感震ブレイカー（イメージ）

その他の質問

- ・記念式典開催事業に
関して
- ・福祉センター管理運営事業に関して
- ・住宅用火災警報器に
関して



市立病院産婦人科病棟を
再開するには



辻 真理子議員

A 診療所では対応困難なリスクの高い分娩は、診療所の紹介により積極的に行うという考えのもと、病診が相互に連携し補完し合う関係の構築が重要であると考えます。

Q 現在の産婦人科医師・助産師の体制は。

A 常勤医師4名、非常勤嘱託医師2名、助産師6名である。

Q 平成28年度分娩数目標は。

A 年間150件である。

Q 平成28年度の分娩数は。

A 102件である。

Q 4階A病棟を産婦人科病棟として再開するには。

A 分娩数の少なさ、助産師・看護師の不足、現在の経営状況等により閉鎖しているが、

今後、分娩数や婦人科入院患者数が増えれば、4階A病棟活用の検討もあり得る。

Q 安心・安全な出産のための病診連携が必要では。

A 安心・安全な出産のため

の病診連携が必要では。

Q 増加があれば検討する

A 増加があれば検討する

A 増加があれば検討する



▲彦根市立病院

その他の質問

- ・「福祉日本一」をどのように実現するのか
- ・「彦根城下町遺跡」は誰のための施策か



市長公約の待機児童ゼロは
どう実現するのか



山内 善男議員

Q 市長選挙は対立候補の合計が大久保市長の票を上まわり、厳しい選挙結果といえる。選挙での公約を真摯に実現されるうえで具体策を伺う。

待機児童ゼロはどうか実現するのか。今年の待機児童は。

A 4月1日現在での待機児童は20人となった。846人の新規申込があり一次希望園への入所は711人となった。
Q 一次希望園に入所できない児童が135人もいた。施設の整備と保育士の待遇向上が必要だが、待機児童ゼロの具体化はどのように行うのか。
A 平成31年度末までに待機児童ゼロとする。平田こども



施設整備と待遇向上し
待機児童ゼロは2年後

園を開園したほか民間の施設整備を進めている。保育士フエアや高校生保育所保育体験の開催で保育士の就労につなげていく。現役保育士の処遇改善にも努める。

今年度の新たな入所申込数		彦根市の近年の待機児童		
	846人	年\月	4/1	10/1
第一希望に入所できた児童	711人	H26	43	94
第一希望に入れなかった数	135人	H27	51	141
4月1日現在の待機児童数	20人	H28	63	154
※第一希望に入所できなかった135人のほとんどの方は、やむをえず学区外等の遠方利用になっています。				
		H29	20	
10/1は4月以降の入所申込に対する待機数				

▲今年度の新たな入所申込数等

その他の質問

- ・放課後児童クラブの充実の具体化を
- ・図書館建設の時期を明確にし体制確立を
- ・学校給食は無料化を



防御パネルによる
通学路の危険性の認識は



和田 一繁議員

Q 防御パネルによる通学路の危険性の認識は。

A 銀座町交差点を含む市道の歩道に設置されている、背丈を超える高さのパネルが見通しを妨げていることから、通行には十分注意が必要な状況であることは認識している。

Q 教育委員会は現場を把握しているのか。

A 教育委員会としても把握しており、あらかじめ危険箇所を確認し、児童の登下校時において十分注意して通行するように学校から周知している。

Q 事故防止の安全対策は。

A 自転車のお会い頭事故も生じているとのことであり、

申請者にカーブミラー等補助施設の設置を求めるとも考えられるが、現在許可をしている6月末以降は、撤去または敷地内への移設を指導しているところである。



▲久左の辻交差点に立つ防御パネル (平成29年6月1日現在)



通行には十分注意が必要
な状況であると認識

その他の質問

- ・首都圏情報発信拠点「はこ滋賀」について
- ・BWiチの活用について

Q ラウンドアバウト（環状交差点）
導入効果は



小川喜三郎議員

構造や仕様を決めるもの。
完成年度は。
平成31年度を目途とする。
本件の財源確保の見通しは。
次年度以降も国に社会資本
総合交付金の要望を行う。

Q ラウンドアバウトの概要は。
A 交差点に信号を設置せず、
時計回りに進み目的の方向へ
出る道路構造のことである。

Q 石寺町地先への導入根拠は。
A 当地では近年、車両の衝突
事故が発生し、地域から安全
対策の要望がある。また通
学路であること、新たな用地
確保が少なく済むのが主な理由。
Q 全国的に導入が少なく、
その効果は小さいのではないか。
A 県内では現在21箇所導入
入を検討中で増加傾向にある
事故抑制には有効である。

Q 今回の補正予算の内容は。
A 交通量や車両条件、地域
条件を把握し、円形の規模、

A 信号に頼らず、事故を
抑制するメリットあり



▲石寺町地先

その他の質問

・市長の公約10の約束
の待機児童ゼロ、観
光消費額の増大、地
場産業の活性化、人
と人が支え合う絆
のまちづくり策等

Q 時代に応じた、
河瀬公園の早期整備を



野村 博雄議員

夜間の照度の確保等は。
A 指摘のとおり、防犯面
にも十分配慮していく。
Q 維持管理への配慮は。
A 植栽の種別等、維持管理
も十分考慮した設計とする。

Q 河瀬公園整備計画にお
ける用地確保の進捗率は。
A 現在74%で、早期に完了
するよう一層努力する。

Q 車社会に対応した十分な
駐車場の確保は。
A 基本計画でもその点を加
味した配置としたつもりだが、
各施設の詳細については地元
の意見も伺いながら、実施設
計に反映していく。

Q 隣接道路は学生の通学路
でもあり、子どもやお年寄り
が多く通行する生活道路でも
ある。十分な交通安全対策は。
A 地元の意見を伺いながら
交通安全対策も検討する。
Q 防犯面から、死角の低減や、

A 安全面や防犯面にも
十分配慮し、推し進める



▲公園計画地の南側道路

その他の質問

・下水道の未整備地域
と、使用料未収金の
解消へ努力を
魅力ある「ふるさと
納税」へ一層の取組
を

Q ニーズを反映した
グラウンドゴルフ場整備を



谷口 典隆議員

整備にあたって利用者の意見をお聞きし、ニーズの把握と意見の反映に努めるべきでは、
A 彦根市グラウンドゴルフ協会をはじめとする利用者の方々のご意見をお聞きしたい。



▲グラウンドゴルフを楽しむ人たち

A 市グラウンドゴルフ協会等
から意見を伺う

Q 市長は「グラウンドゴルフ場の整備」を選挙公約に掲げられたが、どのようなニーズがあると認識されているのか。
A 荒神山の専用コースでは年平均1万5千人を超える利用者がおり、その他の公園でも多くの方が楽しんでおられ、整備についてのニーズはある。
Q 整備に向けた着工の時期は。
A 規模や運営手法等整理が必要な事項もあり時期は示せないが、公約でもあるので今期期中に実現すべく努力する。
Q 現状のグラウンドゴルフ場の利用者からは「利用料金」や「利用方法」の見直しなどへのニーズが高いと考えるが

その他の質問

・ 交流人口増を（SDGsへ参画・ひこねやんマンホール蓋の増設・マンホールカードの発行・オリジナル婚姻届の制作）

Q 国体に向けて、
強化予定の種目は



杉原 祥浩議員

グリーンアリーナ」の4施設、「弓道」は（仮称）彦根市新市民体育センター、「なぎなた」はパナソニック株式会社アプライアンス社彦根工場多目的ホールとなる。



▲ハンドボールの様子

A 市体育協会に委託して
8種目を強化する

Q 国体種目における市としての強化予定は。
A 市体育協会に「ジュニア期における競技スポーツ選手育成強化事業」を委託しており、バスケットボール、バレーボール、ハンドボール、ホッケー、弓道、剣道、なぎなた、柔道の8種目としている。
Q 彦根市における、国体種目の開催場所は。
A 「陸上競技」は（仮称）彦根総合運動公園陸上競技場、「ハンドボール」は（仮称）彦根市新市民体育センター、県立彦根東高等学校体育館、県立彦根工業高等学校体育館、彦根総合高等学校体育館（彦根

その他の質問

・ ひこねちゃんを使って国体種目のPRや原付バイクご当地プレートとの検討を
・ 1階窓口業務職員的身だしなみの規則は

公共建築物・時代適応化について



夏川嘉一郎議員

Q 高齡化や人口減少が進行する中、「ファシリティマネジメント」の推進は今や時代の求める方向。すでに取組の市・町が多々有り。まず、本市取組の姿勢を問う。

A 今年度から、公共施設等総合管理と行政改革の進行管理を一元化した「地域経営・地方創生推進室」を設置し、同計画を俯瞰的に集約し調整する体制をとった。

Q 施策の「見える化」は。

A 公共施設等総合管理計画は「概要版」も含め、ホームページに掲載している。

Q 延べ床面積削減の数的目標は。

A 今後10年間で延床面積を1.4%削減するとしている。

Q 事業推進について市長の見解を問う。

A 人口減少局面を迎え、時代に即した必要な取組である。



▲市を代表する公共建築物「ひこね市文化プラザ」

「公共施設等総合管理計画」策定で取組中

その他の質問

- ・生ゴミ「液肥化」施策、事業化について
- ・学校教育「道徳の教科化」に対する準備対応策について

学校での「働き方改革」を実施すべきでは



上杉 正敏議員

Q 学校での「働き方改革」を実施すべきでは。

A 教職員の長時間労働の問題が取り上げられるようになり、「働き方改革」については、昨年度より市教育委員会においても改善策について協議している。平成28年度には、従来学校へ依頼していた文書報告や会議、研修の実施等25項目を削減した。

Q また今年度、校長会においては、教職員の「働き方改革」を推進するため、「働き方改革検討チーム」を立ち上げ、学校現場での超過勤務縮減の推進に向けた取組を進めているところである。市教育委員会



▲市内小学校

「働き方改革検討チーム」を立ち上げた

その他の質問

- ・危機管理の取組について



県職員を市総務部長に

就任させた理由は



獅山 向洋議員

総務部長が利益相反の立場に立たされたとき、彦根市のために行動する保証はあるのか。A 当然、彦根市の利益のために判断、行動されるものと考えている。

Q 市長が総務部長の派遣を滋賀県に要請したのか、その経緯と理由は。A 平成28年度には、行政経験豊富な部長級職員が7人も定年退職した。市政運営の安定を図るため、市長として県に総務部長派遣を要請した。

Q 市長は彦根市の職員には総務部長の適任者がいないと判断したのか。A 適任者がいないとは考えていないが、平成29年度の人事配置を総合的に勘案し、総務部長の派遣を要請した。

Q 国体関連事業において今後も市と県の利害が対立することが多い。滋賀県派遣の市



市の部長級職員が

7人も定年退職したから



▲議論風景（イメージ）

その他の質問

- ・新市民体育センターの財政計画は
- ・金亀公園再整備の財政計画は
- ・子どもの貧困対策計画の投資総額は

6月定例会追加議案に対しての個人質疑

議員2名（山内善男議員、獅山向洋議員）から個人質疑があった。

Q 議案第53号に対する主な質疑（働き方・業務改革推進経費について）

A アウトソーシングの導入可能性の検証等とは具体的にどのような業務を指しているのか。

Q 窓口で直接対応する業務と、受付後の書類点検や書類作成業務だけでなく、窓口以外の部門の業務についても、現場の事情を踏まえた上で判断していく。

Q なぜ、自らの働き方改革を外部に委託しなければならないのか。全体の事務事業の見直しに当たっては、各事業遂行方法をいくつかのプロセスに分解し、数値化して診断を行った上で、課題を抽出する「業務の可視化」が必要であり、この作業には専門業者のノウハウが必須である。また、改革においては内部からの視点だけではなく、外部からの視点を取り入れることも大切であると考ええる。

Q 議案第54号に対する主な質疑（高規格救急自動車取得について）

A 議案第54号に対する主な質疑（高規格救急自動車取得について）

Q 新しい救急自動車を配備した後、現在の車両は廃車にするのか。

A 廃車はせず、非常用車両である本署救急3号車として活用する。

Q 救命効果の向上を図るため、新たに装備した備品等は。新たに自動心臓マッサージ器を積載する。

Q 議案第55〜73号に対する主な質疑（農業委員会委員の任命の同意について）

A 農業委員候補者については、議案または議案の概要において農業委員会等に関する法律第8条各号のいずれに該当する者であるかを明記すべきでは。

A 今後、よりわかりやすい表記となるよう心掛ける。

議員表彰

全国市議会議長会会長から、
3名の議員が10年表彰を受けられました。



小川 喜三郎議員 辻 真理子議員 西川 正義議員

議会改革特別委員会 中間報告

「大学との連携」等を最優先に

6月9日の委員会では、「閉会中における常任委員会の開催について」および「協議項目の優先順位について」を協議した。

「閉会中における常任委員会の開催について」では、予算を除く各常任委員会でも試行していた取組を踏まえ、今後は委員会の所管ごとに市事務

分掌条例等を基にした当該事務を調査事件とすることで、閉会中も委員会を開催できるものとした。

「協議項目の優先順位について」は、「大学との連携」、「手話通訳の導入」について

今年度中に一定の方向性を見い出すこととし、加えて「台風や豪雪等の災害時における議会としての行動マニュアル策定」を新たに協議項目に追加することとした。

新市民体育センター整備調査特別委員会 中間報告

観客席数等について議論

5月26日開催の第3回委員会では、新市民体育センターの小泉町地先での建設を前提に、整備にかかわる諸問題を調査・検討し、設計業務の完了を一定のめどとすることの確認後、執行部から進捗状況の報告と、(仮称)彦根市新市民体育センター建築設計検討委員会に提示されたものと同

じ内容の資料についての説明を受けた。

観客席数について議員間討議を行うなど、委員からは多岐にわたる活発な質問や発言があった。また、今後は(仮称)彦根市新市民体育センター建築設計検討委員会の開催前に本特別委員会を開催することを確認した。

議場コンサートを開催しました



第24回を迎える今回は、平成29年6月定例会開会日の6月5日(月)に開催し、彦根市を中心に活動されている「BBカン トリーバンド」の皆さんにカン トリーミュージックを中心に披露していただきました。
照明を落とし、普段とは一味違う落ち着いた雰囲気にも包まれた議場の中で、懐かしい名曲が響きわたり、議員席・傍聴席に集まった約80名の観客の皆さんも、曲に合わせて体を揺らしたり、手拍子をしたりと、楽しく和やかな議場コンサートとなりました。

啓発ティッシュを配布しました



6月10日(土)にビバシティ彦根の店舗出入口前をお借りして、彦根市議会の6月定例会の質問項目を記載したチラシの入ったポケットティッシュを全議員が配布しました。

子ども議会を開催します

○開催日
平成29年11月18日(土)
午前9時15分
～午前11時15分
○場所
彦根市役所
本会議場(5階)
市内小学校に通う6年生の児童が、子ども議員として質問します。
ぜひ、傍聴にお越しください。



昨年の子ども議員のみなさん

本会議・委員会の日程(予定)

月日	内容	時刻
9月4日(月)	開会	9:00
9月11日(月)	代表質問 個人質問	9:00
9月12日(火)		
9月13日(水)		
9月14日(木)	予算常任委員会	9:30
9月15日(金)	福祉病院教育常任委員会	9:30
9月19日(火)	市民産業建設常任委員会	9:30
9月20日(水)	企画総務消防常任委員会	9:30
9月21日(木)	本会議	9:00
9月25日(月)	決算特別委員会	9:30
10月4日(水)		
10月5日(木)		
10月6日(金)	閉会	9:00
10月12日(木)		

編集後記

5月臨時会で決定した、議長、副議長、議会選出監査委員をはじめ各常任委員等の新たな体制のもと、6月定例会では、19名の議員が個人質問に登壇いたしました。
今回は、大久保市政の2期目として初の定例会であり、市長公約に関連した今後4年間の市政等に対して、熱い議論が行われました。
これからも開かれた議会を目指し、議会の状況を紙面をとおして市民の皆さまにわかりやすくお伝えできるよう、更なる努力を重ねてまいります。
広報委員会